

令和5年度「あかね会定期総会」の開催

令和5年5月21日(日)11時から、八王子エルシィにおいて定期総会が開催されました。コロナウィルスの対応が第5類に変更されたこともあり、出席者は前年より多めの31名となりました。

総会の初めにあたり、4月に新校長となられた宮嶋淳一名誉会長から挨拶をいただきました。校長先生は3月まで東京都教育庁に在籍され、令和4年夏に東京で開催された「とうきょう総文2022(全国高等学校総合文化祭東京大会)」の担当課長をされ、太鼓部が準優勝した母校と深く縁があったとのことでした。116年の伝統のある学校長に着任し、気の引き締まる思いで、生徒が生き生きと主体的に活動できる学校運営に邁進したいと話されました。

第1部の定期総会は、中村晋也副会長(昭和53年卒)の進行により、浜中賢司会長代行(昭和44年卒)の挨拶のあと、議長に小山隆司常任委員(昭和36年卒)が選出され議事が始まりました。



令和4年度の事業報告が中村副会長から、決算報告が臼井実千恵会計(昭和46年卒)により行われ、監査報告が加藤



晃会計監査(昭和38年卒)から行われると、それぞれの報告は異議なく、承認されました。続いて、令和5年度の事業計画案、予算案が中村副会長、臼井会計から説明されると、これらも質問や異議がなく承認・可決されました。

次に、浜中会長代行から役員案について説明があり、承認されました。前年夏以降、前堀竹会長の体調不良のため、3回の役員選考委員会を開催し、役員案を検討した結果、会長は浜中代行が継ぐことになりました。新たに副会長として、川崎恵美子さん(昭和51年卒)、入沢修自さん(平成5年卒)が、会計には昭和55年卒の高取早苗さんと日高典子さんが選任されました。会計監査には新たに臼井実千恵さんが

着かれることになりました。

選任された浜中会長から、同窓会のあり方が時と共に変化しているため、学校・生徒を支援するとともに会員の親睦を深めていきたいとの挨拶があり、そのうち役員紹介がありました。

第2部は馬場雄太郎庶務(平成23年卒)の進行で始まり、「トーク&歌謡ショー」を演歌歌手の伊達めぐみさん(平成3年卒)に演じてもらいました。

伊達さんは歌手歴30年、幼少期に習い覚えた詩吟や民謡、演歌を聴いて育ち、高校時代にはロックバンドのボーカルとして活躍されました。ひょんなことから演歌歌手としてデビューしたと披露されました。

ラジオ番組のパーソナリティーとして活動する伊達さんのトークは軽妙で、心地良いものでした。歌手からホテル業に邁進し、富士吉田市で「ホテルベル鐘山」を運営されています。前年夏からは古物商の免許を取り、3役の活躍をしていると話されました。

コロナ禍で歌手もホテルも厳しい時期を迎え、何とか乗り切ってきた、との自信のほどが伺えました。歌謡ショーの内容は別記のとおりですが、歌にトークにと40分のショータイムは、瞬く間に終わりを告

げました。伊達さんの声量のある歌声と笑顔に、酔いしれたひと時となりました。



伊達めぐみ歌謡ショー 曲目		
	曲名	
1	☆(ほし)の舞	フルコーラス
2	伊達男 津軽おんな節	1コーラス
	夢に吹かれて 私八王子育ち	1コーラス 1.5コーラス 2コーラス
3	がんばるんば受験生	フルコーラス
4	八百屋音頭	フルコーラス
5	S.and A-9(エスアンドエーキュー)女史	フルコーラス



第3部の懇親会は、新たに副会長になられた入沢修自さん（平成5年卒）進行により始まりました。

浜中会長の挨拶のあと、滝島徳久 PTA 会長から挨拶をいただきました。お二人のお子様が中等教育学校に通われ、子供たちの成長を見守りつつ、PTA と同窓会とが協力しながら事業を進めていきたいと話されました。

その後、石川和昭顧問による乾杯の発声で懇親会が始まりました。美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら、会員の皆さんが歓談しました

宴も賑やかになった頃に、今回から常任委員になられた、シンガーソングライターSIO の小塩晶人さん（昭和62年卒）にギター演奏で歌を歌っていただきました。夕方、コンサートがあり、ギターを持参していたので、歌を一曲ということになりました。

中島みゆきの「なぜめぐり逢うのかを 私たちは なにも知らな



い…」と「糸」を歌い始め、次に SIO 定番の「僕たちの町」と2曲を飛び入りで歌っていただきました。6月中旬に日野煉瓦ホールで「僕たちの町コンサート」が開催されることも紹介されました。

その後、各テーブルから代表の方に挨拶いただき、和やかなうちに予定の時間が過ぎてしまいました。今回は、伊達めぐみ先輩の歌を久々に聴きたいと出席いただいた会員の方もいらっしゃいました。

最後に伊達さんに音頭をとってもらい、母校校歌「湧水は街を巡り・・・」を高らかに合唱しました。結びに、川崎恵美子副会長の閉会の辞が述べられ、定期総会は無事終了となりました。



(溝口記)